

各ブロックの特徴と過去の市民懇談会の意見

ブロックの特徴<柳瀬川下流ブロック>

対象区域:柳瀬川下流ブロック
ブロックの特徴
 釣りをするなど、川を利用する人が多く、河畔林や湧水などの自然も多く残っている。その一方で開発や外来種による自然の調和の崩れが見られる。



子ども川



こぶしの森から子ども川への湧水

対象区域:左岸に分布する斜面林、湧水、支川
地点の特徴
 斜面林が分布し、そこからの湧水が点在している。湧水を集めて柳瀬川に注ぐ支川がある。しかし、都部の支川は生活排水路のようになっている。また、開発により緑地が減少しており、崖線や湧水も減っている。



清瀬橋付近崖線

対象区間:金山橋下流～清瀬橋
地点の特徴
 河道の直線化のため瀬、淵ができにくくなっている。また、落差工により魚の遡上が阻害されている可能性がある。



清瀬橋下流落差工



金山橋下流落差工

対象区間:清柳橋～金山橋
地点の特徴
 緩傾斜で、金山公園、金山調節池は河川と一体となり、親水性の高い護岸整備がされている。緑が多く、野鳥、昆虫、魚類など、多様な生物の生息が確認されている。川に入って遊ぶ子供が多く、水辺の散策もできる一方で、城前橋から金山橋の間には、河道内に瓦礫が散乱している箇所がある。



金山橋から上流を望む



金山橋下流、河道内のコンクリート塊



城前橋から上流を望む

対象区域:富士見橋下流付近
地点の特徴
 富士見橋下流付近では見通しを阻害する建物がなく、田畑が広がっている。このため、水と緑が調和した広い空間となり、良好な景観を与えている。



水谷田圃を望む



富士見橋左岸、水谷田圃



富士見橋から下流を望む

対象区間:新河岸川合流点～清柳橋
地点の特徴
 富士見橋下流付近では水と緑が調和した良好な景観が広がっている。また、志木大橋から清柳橋の間では川沿いに道路が整備され、散策や釣りを楽しむ人が多いが、都部では川へのアクセスが困難な場所もある。清瀬下水処理場からの処理水排水の影響により豊富な河川水量となっている一方で、処理水水質の安全性が懸念されている。



富士見橋から上流を望む



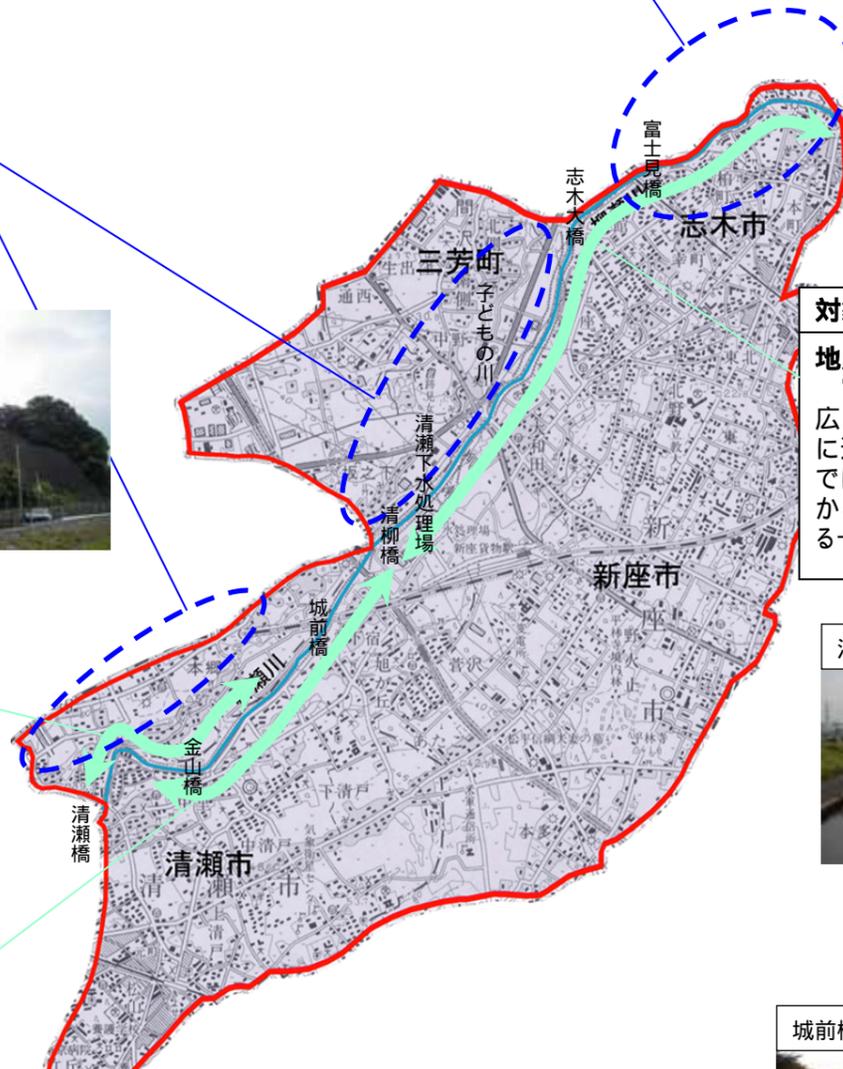
清柳橋から下流を望む



清瀬下水処理場から下流を望む



志木大橋上流側から下流を望む



青字：良いと感じるところについての意見
 橙字：悪いと感じるところについての意見
 緑字：どういう川・流域にしていきたいかについての意見

グループ討論整理 < 柳瀬川下流ブロック >

全般

良いと感じるところ

- ・釣りをする人が増えた
- ・サギ、カワウがいる
- ・水田が残っている
- ・斜面林が残り、湧水も残っている場所がある
- ・川を利用したレジャーが盛ん(ボート、散歩等)

悪いと感じるところ

- ・下水道の整備が進んでいない
- ・川のそばまで開発が進んでいる
- ・雨水が染み込む部分が減っている
- ・流域各地の雑木林、河畔林が伐採されている
- ・外来種の草が分布している
- ・淀みにヒルが多く、安心して遊べない
- ・巨大なコイが多い
- ・川の水(家庭排水)が臭い
- ・洪水時の流れが速く危険(河道の直線化)
- ・水田の農薬が河川に流れ込んでいる

どういう川・流域にしていきたいか

- ・川沿いの道を歩けると良い(上、下流とも)
- ・公共下水道より合併浄化槽の普及(河川流量の増加)
- ・落差工の撤去
- ・川の中のゴミを減らす工夫、市民への意識付けの方法
- ・きれいな川で子供が安心して遊べるように
- ・河岸植生が豊富になるような土堤防が必要(特に下流右岸)
- ・湧水をからさない
- ・水田を湿地として残す(一部公有地化)

志木大橋～英橋

良いと感じるところ

- ・こぶしの森(三芳町)からの湧水の流れ(子どもの川)が、遊水地を經由して志木大橋付近へ流れている
- ・新座中野地区(下水道未整備だが)跡見女子大ウラに雑木林があり、中野川(湧水も)から柳瀬川へ
- ・坂ノ下川がある

悪いと感じるところ

- ・坂ノ下川周辺の土地利用(産廃処理施設が多い)
- ・中野川は生活雑排水の排水路
- ・周辺開発により緑地が減少しつつある
- ・左岸に、工場、大型店、流通施設などが林立しつつある

城前橋上流付近

良いと感じるところ

- ・川幅が広く、砂洲ができ、鳥の休める場所がある
- ・自然の土手で川辺の草地在り豊かで魚種も多く、環境が良い

どういう川・流域にしていきたいか

- ・子供が川に入って自由に遊べるように川底のコンクリートの瓦礫やその他建設現場の廃材を取り除くことが必要
- ・河岸の樹木を増やす(花や実のなる木、木陰がほしい)

所沢の崖線

悪いと感じるところ

- ・崖線が少なくなってきて左岸からの湧水が少ない

金山橋付近

良いと感じるところ

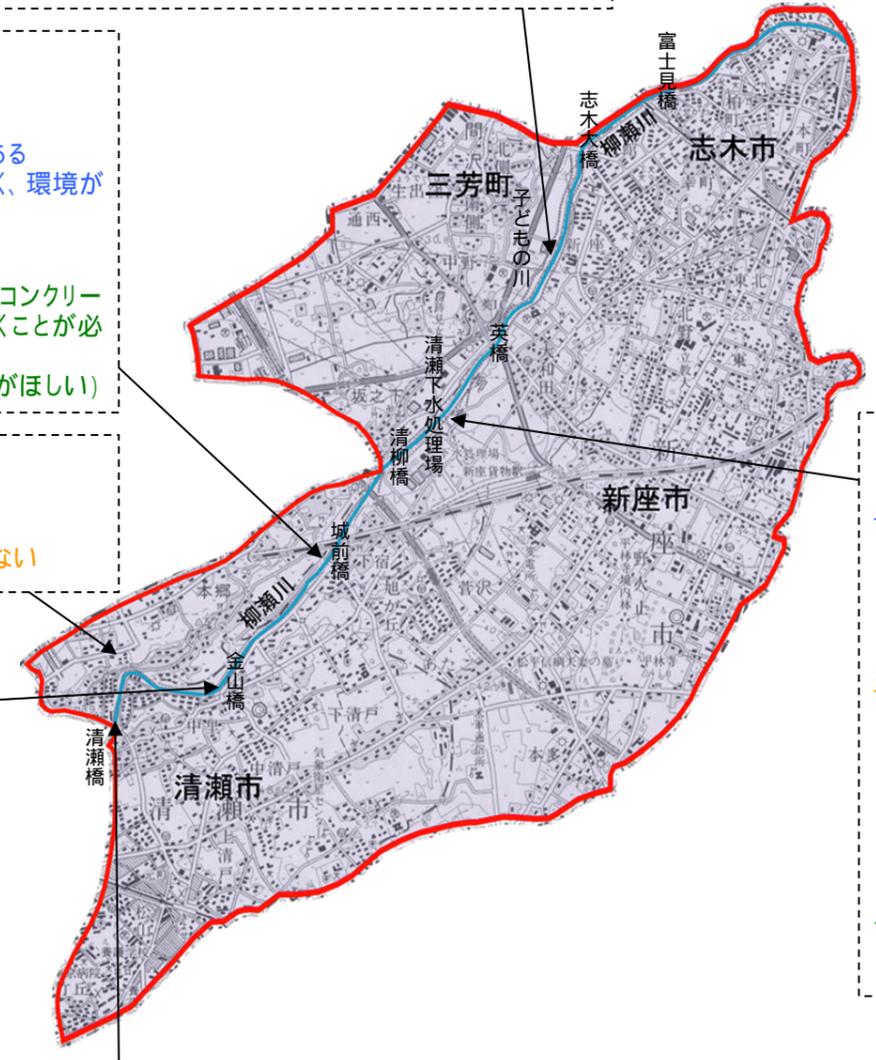
- ・緩傾斜護岸で、砂洲ができ、子供たちが川で遊べる場所
- ・緩傾斜の護岸で親水性が向上
- ・河原で遊ぶ子供たちの姿がある
- ・金山公園と調整池と川の一体感があり、野鳥が多く、昆虫も多くなってきている
- ・川魚が結構多く、鳥も良く来ている
- ・湧水がある
- ・緑が多く、河畔林もあり、散策しやすい

悪いと感じるところ

- ・高水敷は大雨のとき魚が押し上げられ戻れない
- ・金山橋近くまでは河畔林がない

どういう川・流域にしていきたいか

- ・柳瀬川と空堀川の合流地点は調節池をつくり、水鳥、野鳥、水生植物の宝庫にしたい



清瀬下水処理場付近

良いと感じるところ

- ・水量が多い
- ・中州がある
- ・川の両岸を歩ける
- ・釣りをしている人がいる

悪いと感じるところ

- ・処理のための薬品のおいがきつい
- ・川に下りて遊べない
- ・ゴミが散乱している
- ・工場廃水が流れ込んでいるのではないかと心配
- ・処理排水による河川水の温度上昇
- ・処理水の水質が心配(未処理の化学物質の有無)

どういう川・流域にしていきたいか

- ・処理のための薬品の工夫(におい、安全性)
- ・河岸に土のところがあるとよい

清瀬橋下流付近

悪いと感じるところ

- ・河道の直線化のため、瀬、淵ができにくい
- ・落差工があり、魚が上流に上がれない

どういう川・流域にしていきたいか

- ・水辺の草、河畔林が必要

その他

- ・流域の水田や畑を残せるような制度をつくってほしい

ブロックの特徴<柳瀬川上流ブロック>

対象区域:柳瀬川上流ブロック

ブロックの特徴

多様な生物の生息が確認され、水質も改善されてきている。しかし、川は住宅地の背後を流れ、掘り込み河道であるため、水辺へのアクセスは容易でない。また、平常時には水量が少なく、洪水時には短時間で水位が上昇する。

判立橋から上流を望む



桜淵橋から下流を望む



吾妻橋から下流を望む



二瀬橋下流側直下



対象区間:清瀬橋～二瀬橋

地点の特徴

水質が改善され、一部では土羽の河岸が残り、多様な生物が確認されている。しかしその一方で、護岸いっぱいまで宅地開発がなされ、川へのアクセスが困難になっている。また、洪水時には短時間で水位が上昇する。

対象区間:二瀬橋～源流部

地点の特徴

コイ以外の小型の魚が少ない。また、上流部の河川沿いには良好な景観の緑地が点在している。



新柳瀬橋から上流を望む



淵の森緑地付近



都営野塩団地付近



柳瀬橋から上流を望む



なかよし広場付近(北川)



前川合流前(北川下流部)



武蔵大和駅付近(前川)



北山小付近(北川)



対象区間:北川・前川

地点の特徴

北川ではアユの遡上が確認されており、両河川とも河道内に植生が見られる。一方、両河川ともコンクリートの護岸が多く、北川については落差工も見られる。

前野橋(前川)



北川合流前(前川)



グループ討論整理 < 柳瀬川上流ブロック >

青字：良いと感じるところについての意見
 橙字：悪いと感じるところについての意見
 緑字：どういう川・流域にしていきたいかについての意見

全般

良いと感じるところ

- ・ 中州にカメ、カワセミ
- ・ アブラハヤ、カワセミ、ゴイサギ、コサギがいる
- ・ 水質が改善されている
- ・ 天然の川岸が残る

悪いと感じるところ

- ・ 台風、大雨のときの洪水
- ・ いつもは少ない流量
- ・ 水量が減少
- ・ ミヤコタナゴが小学校の水槽？
- ・ ホタルがいなくなった
- ・ コンクリート護岸が高い、階段がない、金網等のために川の中に入れない
- ・ 未だに水が濁り川に入って遊ぶ子供がいない
- ・ 下水処理と河川流量の問題
- ・ 護岸いっぱいまで宅地が進出
- ・ 家庭排水
- ・ 建築基準の建蔽率を無視した建築と全敷地の舗装

どういう川・流域にしていきたいか

- ・ 木陰のある水辺
- ・ アブラハヤ、ハヤ、ナマズ、カワセミ、シラサギ、ゴイサギが生息できる
- ・ 透水性の護岸

持明院の崖下

どういう川・流域にしていきたいか

- ・ 緑を守りながら遊水地として改善し、下流の人が安心して川のそばに住めるようにしてほしい

秋津橋下流付近

良いと感じるところ

- ・ 洗濯水、洗剤の泡が最近見えなくなった

どういう川・流域にしていきたいか

- ・ 右岸の緑も含めて左岸の林を守りたい
- ・ 西武鉄道グラウンド前の林を守りたい

秋津橋～柳瀬橋中間付近

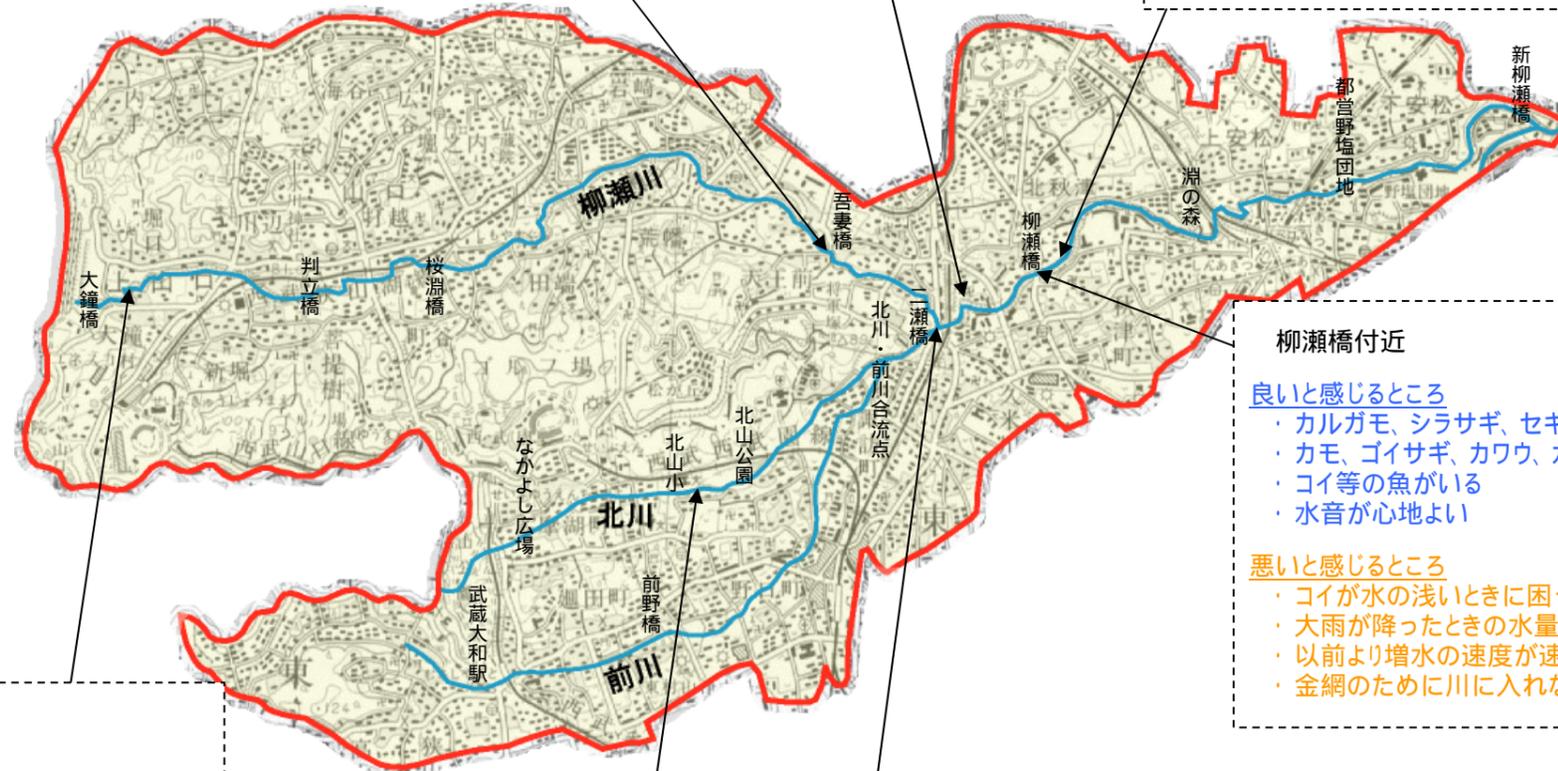
悪いと感じるところ

- ・ コンクリートブロックにゴミがよくつかえて汚い
- ・ 赤い水が時々流れてくる

吾妻橋付近

悪いと感じるところ

- ・ 大型のコイはいるが、小型の魚は見えない
- ・ 小型の魚は棲めない場所である(増水で流されるのか)



柳瀬橋付近

良いと感じるところ

- ・ カルガモ、シラサギ、セキレイ、カメ、コイが生息している
- ・ カメ、ゴイサギ、カワウ、カワセミ等の鳥がいる
- ・ コイ等の魚がいる
- ・ 水音が心地よい

悪いと感じるところ

- ・ コイが水の浅いときに困っている
- ・ 大雨が降ったときの水量が多くて不安
- ・ 以前より増水の速度が速くなった気がする
- ・ 金網のために川に入れない

上流部

良いと感じるところ

- ・ 大鐘橋から高橋下流区間、桜淵橋上流付近が良い環境である

どういう川・流域にしていきたいか(ミヤコタナゴを柳瀬川に戻すための地元の人々の要望)

- ・ 狭山湖から今の2倍の水量がほしい
- ・ 降雨時に道路側溝から粉塵混じりの黒い水が流入しないようにしたい

二瀬橋付近

どういう川・流域にしていきたいか

- ・ もっときれいにしましょう

北川

良いと感じるところ

- ・ アユが上ってきている

悪いと感じるところ

- ・ コンクリート護岸が多い

その他

- ・ 多摩湖の水を一定量柳瀬川に流す工事をする
- ・ 雨水貯留施設を増設する
- ・ 生活廃水はどの程度下水処理されているのか
- ・ 東京都北多摩北部建設事務所の人も参加してほしい
- ・ 行政は河道改修で全て問題は解決されるとして意見を聞いてくれない
- ・ オイカワは本来西日本に生息分布する魚ではないか
- ・ 「ハヤ」という学術名の魚はいない
- ・ 清瀬下水処理場付近に釣り場を作ってほしい

ブロックの特徴<東川ブロック>

対象区域:東川ブロック

ブロックの特徴
 東川ブロックは全体的にコンクリート三面張りで、直線的な河道となっている。河川水が地下に浸透しやすく、元々水量が乏しい。所沢下水処理場の廃止に伴い、下流部では、将来さらに河川水量の減少が見込まれる。

対象区間:加美橋～弘法橋(地下河川整備区間)

区間の特徴
 市街地の中であって、河道に沿った桜並木と東川の織りなす風景は、東川の象徴的な光景である。水量については、元々乏しいという特徴を持っている一方で、洪水時には浸水被害が多発しており、地下河川の整備が計画されている。

対象区間:柳瀬川合流点～加美橋

区間の特徴
 下流の河川の周囲には農地が残っており、自然を身近に感じられる良好な景観となっている。その一方で河道は直線化され、コンクリートの護岸整備がなされており、落差工も多く見られる。



対象区間:弘法橋～源流部

地点の特徴
 かつてはミヤコタナゴやウグイが生息しており、武蔵野固有の魚類の生息環境があった。しかし、流域が都市化した現在では、水量の減少や水質の悪化など、生息環境の悪化が著しく、コイやフナなどの汚濁に強い魚しか確認されていない。



青字：良いと感じるところについての意見
橙字：悪いと感じるところについての意見
緑字：どういう川・流域にしていきたいかについての意見

全般
どういう川・流域にしていきたいか
・ 全体的に川らしく、川に戻したい(放水路ではない)
・ まず、水量を豊かにしたい
・ 地下河川の水を平常時に利用したい
・ これ以上なにも手を入れないで!!

西武新宿線下
どういう川・流域にしていきたいか
・ なんとかしてほしい
・ 中心市街地で人目に一番触れる場所



その他
・ 東川に桜が良い? 悪い?

ブロックの特徴<空堀川ブロック>

対象区域:空堀川ブロック

ブロックの特徴

元来流量が少なく、河川水が地下に浸透しやすい地質であることに加え、市街化による洪水の短期流出と河道の拡幅により、一層水量が乏しく感じられる。また、川沿い整備された柵のため、親水性は乏しい。旧河道の現在の利用形態は、公園、散策路等様々である。

丸山橋から上流を望む



野塩橋から下流を望む



石田橋から上流を望む



新空堀橋から上流を望む



柳瀬川合流点付近落差工



対象区間:馬頭橋~源流部

区間の特徴

河道未改修区間では、単調な三面張りの河川となっている。落差工も多く点在しており、乏しい流量と併せて魚などの遡上を困難にしていると考えられる。その一方で、上砂橋では、キンブナ、ドジョウ、オイカワなどが確認されている。

浄水橋から下流を望む



野口橋から下流を望む



清瀬せせらぎ公園(旧河道)



新薬師橋から下流を望む



上砂橋から上流を望む



新空堀橋付近旧河道



対象区間:柳瀬川合流点~馬頭橋

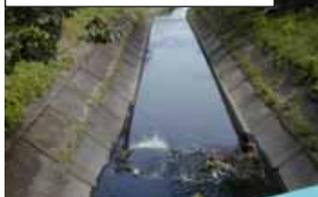
区間の特徴

広い河道が確保され、河道内に豊かな植生が繁茂している。しかし、川沿いには柵が整備され、水辺へのアクセスは困難となっている。その中で、野口橋から馬頭橋にかけては親水施設が整備されており、散策などの新たな水辺利用を可能としている。

中砂の川橋付近落差工



庚申橋から下流を望む



清水大橋から下流を望む



グループ討論整理 < 空堀川ブロック >

青字：良いと感じるところについての意見
橙字：悪いと感じるところについての意見
緑字：どういう川・流域にしていきたいかについての意見

全般

良いと感じるところ

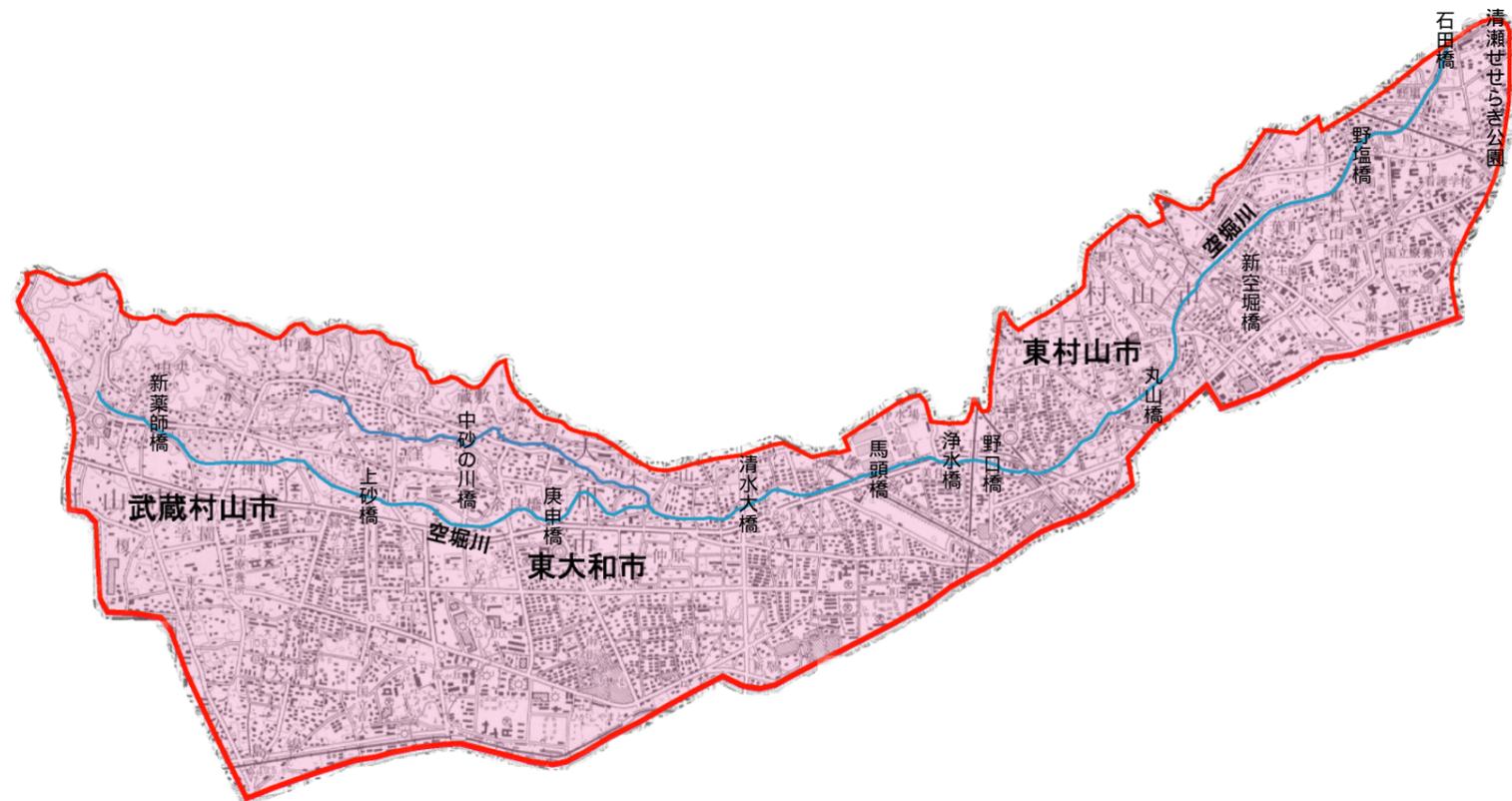
- ・ 河川敷は生態系の宝庫

悪いと感じるところ

- ・ 柵を入れない!!

どういう川・流域にしていきたいか

- ・ 河床の草(イネ科)鳥の道(草刈りの工夫)
- ・ 公有地の緑化に努力を
- ・ 河川改修時、河畔林も設計に
- ・ 水制工には低木又は草の植生を
- ・ 浸透しない方式の工事
- ・ トンボのとび交う水辺に
- ・ 旧川跡地の復活(調節池の復活)
- ・ 魚道の確保
- ・ 水量確保
- ・ 川の流量のないときに美しく見える工夫を考える
- ・ 鳥を呼び込む草を植える
- ・ 川の性格をよく理解して無理な手を加えない方がいいのでは？
- ・ お金が続く間だけ維持できる方法はさける
- ・ 水で緑を育てる工夫を
- ・ 浄水橋
水量; 3 m³/s
水質; BOD 3 ppm 以下



その他

- ・ どこかに(空堀川流域で)開発・再開発のときに河岸を作りかえるチャンスをさがす
- ・ 「緑化協定」のようなものがないか
- ・ 流域の土地利用について意見を言っていくこと